

災害概略シート

項 目	内 容
災害の名称	1923 関東大震災
災害の種別	地震
概 要	相模湾北西部で発生した地震により東京都、神奈川県を中心に関東一円から伊豆地方にかけて甚大な被害が発生した。特に火災の害が大きかったが、津波や土砂災害も発生した。
時 代	近代（大正時代）
発生年月日	1923（大正12）年9月1日（11時58分）
主な被災地域	東京都、神奈川県
被災規模	死者：10万5千余人 住家全潰：10万9千余棟、半潰：10万2千余棟 焼失：21万2千余棟（全半潰後の焼失を含む）
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国周辺のプレート辺縁部で200年～300年に一度発生する巨大地震（マグニチュード7.9）であった。 ・この地震を機に「震災予防調査会」が廃止され、東京帝国大学に「地震研究所」が設置された。 ・地震そのものの被害も甚大であったが、流言が飛び交うなど社会経済的困難が発生し、被害を拡大した。